

ながおか 市政だより

1月 (No.281)

賀正

ハイウェイ時代の幕明け

北陸自動車道(長岡～新潟)
今秋には開通

〔写真〕長岡インターチェンジ

3尺坊



先月の交通事故

区分	11月21日 ～12月12日	1月からの計
件数	42件	638件
死者	2人	14人
傷者	55人	757人

市立劇場ガイド



オペラ・浪曲・ミュージカル……

多彩なプログラム

◇今年の自主公演◇

6月		5月		3月	
18(日)	10(土)	28(日)	13(土)	9(火)	29(水)
三波春夫ショー (一回公演)	コーラスグループ ハイファイセット	ぬいぐるみ人形 (二回公演) 「オズの魔法使い」	宮沢明子ピアノリサイタル	松竹春の特別公演 いちばん星・雪の渡り鳥	「狩人」 (一回公演)

長岡市立劇場は、オープンして満四年余になりました。市立劇場では、今年もいろいろな自主公演をたくさん用意しています。まだ、日程など最終的に決っていないものもありますが、新年号ですので、年間の自主公演計画をお知らせしましょう。詳しいことは、順次市政だより等でお知らせしてまいります。どうぞ、ご期待ください。

11月		10月		9月		7月	
	28(土)	22(日)		24(日)	23(金)		29(土)
ポール・モーリア楽団 「新劇」カ「ミュージカル」 文化庁巡回公演	文化庁巡回公演 「ねむの木の子」	子供ミュージカル 船乗りワフワフ大冒険 ソビエト国立交響楽団 指揮 コンスタンチン・イワノフ 文化庁巡回公演	文化庁巡回公演 オハラ「春夢抄」 主演 中沢桂	宮城まり子映画劇場 「桃の別離」	木暮実千代 「桃の別離」	島田祐子リサイタル モダンバレエ	NHK交響楽団 指揮 岩城 宏之 ピアノ 中村 益子



朗読奉仕会が誕生

朗読奉仕でボランティア活動の輪を広げようという長岡市朗読奉仕会が、年の瀬の十二月二十日に誕生しました。

朗読奉仕会のメンバーは主婦、OLをはじめ、看護婦、教員などバラエティーに富んだ四十名。皆さんは九月から三か月間、朗読講座を受講して、発声の練習を始めるに、読む速さ、アクセントなど朗読の基本技術をみっちり勉強。

この技術を本格的な朗読奉仕に役立てるため、会の創立にまで、こぎつけた皆さんは、まず書籍をテーマにふき込むことにしています。そして、これを「社会福祉会館あすなろの家」に贈り、目の不自由な人から活用していただくこと、はりきっています。

藤井慧真さん

日本刀三振りを寄贈
三百年前の作といわれる日本刀など三振りが、先こ

ろ、藤井慧真さん(渡里町)から市に寄贈がありました。贈られたのは、関兼久作の大刀一振り、勝国作の脇差一振り、それに長吉作の槍一振りの計三振り。早速、この貴重な贈り物を展示した郷土史料館は、これまで展示してある日本刀がすべて借り物だけに大喜びです。

また、史料館では、もしほりにまみれている歴史的资料があったら、ぜひ史料館に提供してほしいと呼びかけています。

美雪ちゃんみこと入選

このほど全国小・中学校つづり方コンクールに、大島小学校一年松沢美雪ちゃんが、小学校低学年の部門で見事に入選しました。

美雪ちゃんの作品は「わたしのびよんちゃん」と題したもの。美雪ちゃんは家で飼っているウサギの「びよんちゃん」とは大の仲良しで、このウサギの世話をしたり、一緒に遊びながら、ふだんから感じていたことを原稿用紙七枚にまとめたもの。

作品は、観察力がすばやく、美雪ちゃんの動物好きな気持ちが素直に表現されているということで入選したものです。



新年を迎えて

長岡市長 小林孝平

市民の皆様、明けましておめでとございます。今年頭に当り、わが長岡市は市民各層からの積極的な支持を背景に、将来に向けて順調に伸展していることを報告させていただきます。私のこのうえない喜びであります。中でも長岡市の歴史に重要な一頁を印した長岡ニュータウン開発整備事業は昨年七月に着工され、長岡市の新しい発展の核として輝かしいスタートを切りました。

きましても着々建設が進み、今年の四月いよいよ開校、懸念の大手大橋も都市計画決定になり、建設に向けて大きくその第一歩を踏み出しました。また、上越新幹線あるいは北陸・関越自動車道並びに国道バイパスの建設も着実に進み、このうち北陸自動車道の長岡・新潟間の開通、長岡東バイパスの一部開通がこの秋に実現いたします。

活道路、公営住宅など市民生活に直接関連する事業も引き続き順調に伸展させることができました。特に昨年は、お年よりの生きがいづくりのために、全国でも例のない「生きがい課」を市の機構の中に設置し、新しい観点にたつた生きがい対策事業に取り組みました。また、新しい市役所を完成させ、これを機に新しい市章と市旗も制定いたしました。このように長岡市の魅力ある地方中核都市づくりの骨格

は、これではほめられたと言っても過言ではないと思えます。今後は、この骨組みに誤りなく、立派に肉づけをしていくという大切な仕事が残っているわけでありませぬ。私は昭和四十一年に市長就任以来、清潔、公平な政治姿勢を貫き、この長岡で暮らすことに誇りの持てる、そして愛着を感じることで、そしてそういう魅力ある街づくりを積極的に進めて参りました。今年もこの考え方で全力を尽す決意であります。さらに一層のご支援助とご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康とご繁栄を心からお祈りいたしまして新年のごあいさつといたします。

年頭のあいさつ

長岡市議会議長 高田俊夫

明けましておめでとございます。年頭にあたり、まずもって市民の皆様御繁栄と御健康を心からお祈り申し上げます。さて、昨年はなにかと厳しい世相のなかでの一年でありました。長期にわたる不況と円高ショック、そして、貿易摩擦などで、第二の昭和恐慌とさえ言われましたが、この深刻な経済環境は地方自治体にも重くのしかかり、長岡市もまた苦しい財政運営を余儀

なくされたのであります。しかしながら、市政は一日たりとも停滞させることは許されないのであります。こうした事情のなかではありましたが、長岡市は、市民の皆様御協力の御協力により、健全財政を堅持するとともにこれからの長岡市にとって重要な多くの事業を完成、あるいはこれをスタートさせたのであります。

なかも、長岡ニュータウン開発整備事業は、七月にその起工式が行われ、本格的な建設工事が始められました。また、国立長岡技術科学大学も着々と建設が進み、この四月には開校の運びとなるほか、本年は、北陸自動車道(長岡・新潟間)、長岡東バイパスの一部が開通いたします。これらの大事業はまさに長岡市の歴史に新たな一頁を印すものであり、長岡市は未来への新しい発展に向けて大きくスタートしたのであります。万、市民生活に直接影響

を及ぼす公共下水道事業、上水道拡張事業、道路整備事業、教育、文化、スポーツ、レクリエーション施設の整備事業も大きく前進いたしました。また、十月には発展する長岡市にふさわしい新しい市庁舎が完成するなど、長岡市は将来の発展に向かって順調に伸展しております。本年も何かと厳しい情勢が推移するものと予想されますが、私ども議会も、心を新たに、旧に倍する努力を尽す決意であります。どうか、市民の皆様御支援と御協力を心からお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

12月定例市議会

52年度一般会計 総額一九七億円に 積極・健全を評価

51年度決算審査意見

十二月定例市議会が去る十二月十二日から二十一日までの十日間の日程で開かれ、この議会では、一般会計補正予算、水道事業会計補正予算並びに国民健康保険、と畜場、卸売市場、スキー場の四つの特別会計補正予算その他の議案、諮問が提案され、継続審査となった昭和五十一年度一般会計および特別会計の決算認定を除き、いずれも提案どおり決まりました。

今回の一般会計補正予算は歳入歳出とも、それぞれ七億八、二七〇万七千円、歳出では、老人医療費の不足見込額補正、中学校三年の女子生徒に対する風疹予防接種、西津および宮原都市下水路工事費、道路除雪費、それに新入学生児童生徒の増加に伴う机、いす購入費その他が含まれました。これによって昭和五十二年一般会計予算総額は、一九七億四、四七五万二千元となりました。

また継続審査となった昭和五十一年度一般会計、特別会計並びに各基金の運用状況について、議会選出監査委員から大要次のような審査意見書

の報告がありました。〈昭和51年度決算審査意見〉

不況の長期化により、財源難を強いられる中で、市営食肉センターのオープン、市営牧場の放牧開始、市営陸上競技場オープン、長岡ニュータウン用地買収の協定書調印、第一下水処理場供用開始、国立長岡技術科学大学開学並びに新市庁舎建設など、重点施策にそって着実にその歩を進める一方、黒字の健全財政を確保できたことは、誠に同慶にたえない。

さらに、激動する社会情勢に誤りなく対処するため、超一流の顧問団を迎える等は、不況で沈滞しがちの市民に希望を与え、市に対する信頼感を持たせてくれた。

しかし、市税調定額に対する収入率の低下が示すように、税源環境は極めて厳しい。この中であって、市勢を益々発展させるには市民の協力が一層必要であるが、このため、当局の子算編成並びに執行に對する厳しい姿勢と行動に對して、市民のコンセンサスを十分とすることが必要である。市民の負託に応えられるよう一層の努力を期待する。

信濃川河川敷問題の経過

市民の皆様さんの御理解を

いわゆる信濃川河川敷問題について、市議会で初めて論議されたのは、昭和三十九年のことですが、それ以後、各方面において、いろいろな観点から取りざたされてきました。

しかし、この土地は、長岡市の将来を考えると、都市計画に極めて重要な位置にあります。また、あれだけ広い用地がまとまっている所はほかにないといふことから、小林市長は、昭和四十三年ころすでに、田中角栄代議士と、この土地について数度話し合いをし、将来いろいろの問題が片づいて、これが利用できることになったときは、所有者は、長岡市の発展に役立つようにこれを利用すること、またその際は、必ず長岡市長に相談する、ということをお約束してまいりました。

このような状況を考慮して昭和四十九年四月、市は建設省に對して、あの土地の中に

ある国有地、主として旧堤防を長岡市に払い下げてもらうよう申請しました。

昭和50年9月26日

室町産業と確認・合意

しかし、川西地区の下水処理場(結果的には廃川敷処分が遅れたこともあって、食肉センターに隣接して第二下水処理場を建設することになりましたが……)や市民から要望の強い県立普通高校、老人福祉センターなど、今後新しく用地を求めなければならぬい施設のことを考えると、河川敷の中にある国有地を払い下げてもらうだけでは不十分で、もっと広くあの土地を、市が利用できるようにしなければならぬ、という状況にありま

このために、長岡市が必要とする用地については室町産業はこれを長岡市に提供することを承諾し、

建設省が廃川敷処分

昭和52年11月1日

その後、長岡ニュータウン計画が実現に向かって大きく前進し、これに関連して、大手大橋(当時は仮称第二長生橋)の建設促進の気運も盛り上がり、あの土地は、市にとっても大変重要性を帯びてきました。

このような状況を考え、小林市長は、室町産業と再度話し合い、昭和五十二年九月十七日、正式に覚書を交換しました。そして引き続き九月二十九日、建設大臣に對し、この覚書と長岡市の利用計画を添えて、廃川敷処分の早期完了を陳情したわけですが、この陳情書と別添の利用計画及び覚書は市政だより十一月号でお知らせしたとおりです。

この覚書は、昭和五十二年九月二十六日の確認・合意を文書によって明確にしたものでその内容は、

第一に、長岡市が利用する土地は、あの河川敷用地の北側半分とし、譲渡価格は、室町産業が当該土地を取得するために支払った土地代金、補償料及びその後の利息、公租公課並びにその他の必要経費とすること。

第二に、室町産業が利用する

昭和五十二年十一月一日、建設省は、信濃川河川敷の廃川敷処分を行いました。

以上のような経過ののち、昭和五十二年十一月一日、建設省は、信濃川河川敷の廃川敷処分を行いました。

次いで、十月二十二日の町内会長会議にも報告しましたが、ここで圧倒的な支持を得ました。

そして、十月二十七日には、建設省に對し、市議会各会派代表者会議と町内会長会議の結果を含めて、再度、廃川敷処分の早期完了を要請しました。

以上のような経過ののち、昭和五十二年十一月一日、建設省は、信濃川河川敷の廃川敷処分を行いました。

『市の方針支持』を決議

ところが、信濃川敷分後、この問題がまたいろいろと取りざたされ、十二月定例市議会には、この問題に関する請願

が、三件提出されました。このような情勢の中で、市議会は、去る十二月二十一日の最終本会議において、市の方針どおり、早期公共利用をはかるべきだ」という趣旨の決議が、議員の賛成で提案され、出席議員の圧倒的多数で

建設省の現地調査に対し

長期的展望に立って回答

以上が、今日までの大雑把な経過ですが、この過程で、去る十一月十四日、建設省の現地調査団が来岡されました。この調査団は、信濃川敷分後、国会においてもいろいろ論議されたことから、建設省が派遣したもので、調査の内容は主に「長岡市が利用する用地を除く、残りの南半分についても、長岡市が利用する考えはないか」ということでした。

これに対し市は、すでに、長岡市が利用することになる用地の利用計画があり、利用区分についても、室町産業との間で覚書を締結している状態ではありましたが、再度検討することを約束しました。そして、長期的展望に立って慎重に検討した結果、北半分の用地だけでも、ここにいろいろな施設を全部配置するに

信濃川河川敷の早期解決と公共利用促進に関する決議

長岡市の信濃川河川敷は、当市の都市計画に上きわめて重要な場所であり、この土地の有効かつ早期の活用を図ることは、全市民の一致した願いであります。このたび建設省におかれましては、長岡市民の願望にこたえられ、去る十一月一日付をもって同河川敷の信濃川敷処分告示が行われたことについて、深く感謝申し上げます。長岡市が既に発表いたしましたとおり、市が利用する場所については、老人福祉センター、市営プール、県立普通高校及び大手大橋関連道路をはじめ、美術館、体育館、保健センターなど、長岡市の長期的な展望に基づく利用計画を立てているところでありますが、このような施設は、長岡市民が一日も早く、その実現を望んでいる重要な都市施設であります。

いま、ごく一部の人間たちによって、この長岡市の方針に反対する動きがありますが、これらの動きは、さきに政府調査団の調査に長岡市が回答申し上げたように、今後における公共施設整備の見通し、財政上の問題、公共施設の全体的なバランスという三点からして、長岡市は北半分の利用で十分であるとの結論であり、長岡市は北半分についても、室町産業は、公益性の強いものを主体に計画し、その利用計画の策定に当たっては、事前に長岡市に協議し同意を得るものとし、この場合市長は、建設省とも協議して行うなど、十分な歯どめの措置が講ぜられているところであって、南半分も含めた全面利用の動きは、長岡市が計画している公共利用を遅らせ、いたずらに市政を混乱させるものであって、長岡市にとって大きな損失と言わなければならない。長岡市については、国会及び政府におかれては、長岡市の方針にそって、早期にこの問題を解決し、公共利用が一日も早く促進されるよう、強く望むものであります。

昭和五十二年十二月二十一日

長岡市議会



信濃川河川敷問題に対する私の考え方

長岡市の発展を願って……

長岡市長 小林孝平

過ぐる十二月定例市議会において、信濃川河川敷問題について「市の方針どおり、早期公共利用をはかるべきだ」との決議がなされました。また、この問題に関して提出されていた三件の請願のうち、市議会の決議と同じ趣旨の二件が採択されました。この市議会の結論を受けて今後とも、従来からの方針に添って、早期解決につとめたいと思っております。

この問題は、いま初めて起きた問題ではありません。十数年来、長岡市議会においても、幾たびか論議されてきた問題です。私は、昭和四十一年十一月長岡市長に就任しましたが、その当時から、この問題を承知してまいりました。しかしあの土地は、長岡市の将来を考えると、都市計画の上極めて重要な位置にあり、ここに無計画に開発されることを恐れました。そこで私は、昭和四十三年

ころすでにこの問題について田中角栄代議士と数度話し合っており、あの土地は、長岡市の発展に寄与するように、将来所有者はこれを使うこと。その際は、私、長岡市長に必ず相談をする」ということを約束したわけでした。その後、河川敷問題は大きな政治問題となつていきましたが、一方、長岡市にとつては、大手大橋をはじめ、どうしてもこの土地を利用しなければならぬ状況が生まれてきました。

こうしたことからは、私は、政治問題は別として、長岡市長としては、一日も早く事務的に決着をつけなければならぬと考へました。私は、いろいろな批判や意見があることも承知してまいりました。またこれに介入することは、火中の栗を拾うようなもの、と心から忠告してくれた方々もおりますが、長岡市の発展と、市民全体の利益を優先させて処理しようと思へました。

そこで、昭和五十年九月二十六日、室町産業との間で確認・合意し、さらに昭和五十二年九月二十七日には、覚書を締結してきたものです。あれこれと申上げたように、あの土地はもととは、直接

これは市に発言権のある土地ではありませんでした。けれども、長岡市としても、あの土地を利用できるようにして、室町産業と折衝し、覚書の締結にまで取り運んできたものなのです。

半方がいいか、全部がいいかと、二つ並べて比較すべき問題ではありません。つまり、半分の利用がいいか、全部がいいかと、二つ並べて比較できるような、単純な問題ではありません。全部市が買収するためには長いことかけてまとめた覚書を、いつか白紙に戻し、もう一度最初から話し合いを始めるわけにはいかないことになるわけですから、これは極めて困難なことです。

過去年、市議会における議論は、あの土地を、長岡市発展のために、早急に公共目的に使用できるように、市長は努力すべきである、ということでありました。私は、私自身の考え方、この市議会の考え方、大方の市民の皆さんの考え方を基本に、いろいろな考え方や主張はあろうが、それぞれの最大公約数をとつて、長岡市発展のためにどうすれば寄与できるかという観点から、この問題の解決をはかってきたわけでした。市民の皆さん、信濃川河川敷問題を正しく御理解のうえ、いたすに、これ以上市政を混乱させることを避けて、あの土地に、今後各種の公共施設が、できるだけ早く整備されていくよう、御協力をお願いします。

特別会計

単位千円

国民健康保険事業
予算額 2,557,226
収入済額 1,578,883
支出済額 1,189,071

と畜場事業
予算額 214,020
収入済額 54,892
支出済額 107,498

下水道事業
予算額 1,721,111
収入済額 647,271
支出済額 733,062

簡易水道事業
予算額 190,317
収入済額 11,612
支出済額 26,417

卸売市場事業
予算額 74,316
収入済額 23,498
支出済額 36,094

郷土史料館事業
予算額 9,349
収入済額 4,884
支出済額 5,510

八方台休暇センター事業
予算額 24,391
収入済額 9,637
支出済額 16,460

スキー場事業
予算額 420,768
収入済額
支出済額 73,203

◆市債現在高の状況

一般会計	92億4107万円
特別会計	104億6280万円
合計	197億387万円

— 長岡市の市民

市債のうちわけ

水道事業債	46億8千万円	下水道事業債	44億6千万円	教育債	23億1千万円	22億7千万円 土木債	16億1千万円 総務債	9億3千万円 と畜場債	9億1千万円 公営住宅債	その他	25億3千万円
-------	---------	--------	---------	-----	---------	----------------	----------------	----------------	-----------------	-----	---------

◆市の財産 (52.3.31 現在)

区分	土地	建物 (延面積)		
		木造	非木造	計
行政財産				
庁舎	4,079㎡	530㎡	6,100㎡	6,630㎡
その他の行政機関等	403,687	8,298	12,615	20,913
公共用財産	3,542,935	100,383	176,612	276,995
学校	86,244			
普通財産	700,005	1,654	14,600	16,995
合計	4,736,950	110,865	209,927	320,792

◆水道事業会計の経営状況 (上半期) 単位千円

損益計算書 (52.4.1から52.9.30まで)		貸借対照表 (52.9.30)	
1 営業収益	612,806	1 固定資産	6,721,697
2 営業費用	348,094	2 流動資産	179,290
営業利益	264,712	資産合計	6,900,987
3 営業外収益	10,491	3 固定負債	209,700
当期総利益	275,203	4 流動負債	48,209
4 営業外費用	169,239	負債合計	257,909
当期純利益	105,964	5 資本金	5,805,221
		6 剰余金	837,857
		資本合計	6,643,07
		負債資本合計	6,900,98

台所・健全財政を堅持

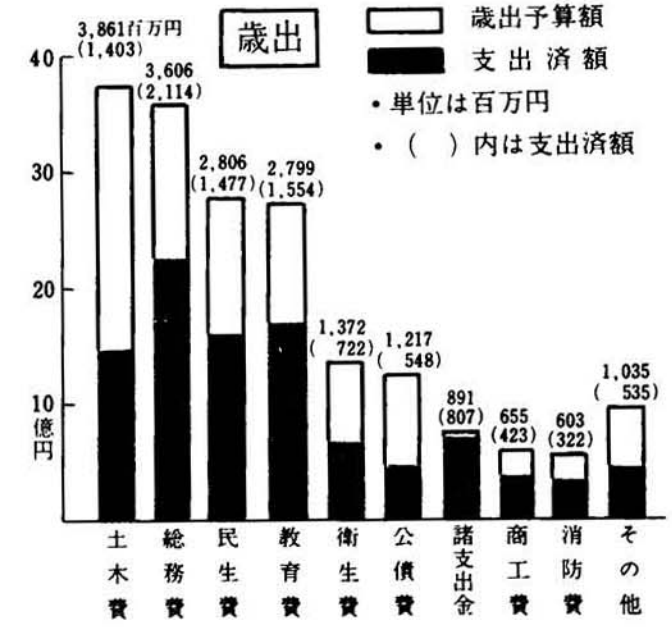
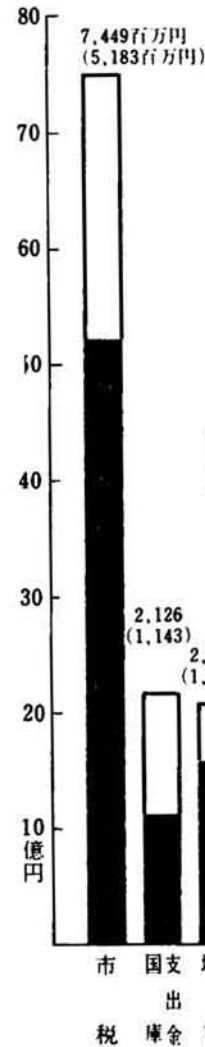
生活優先を柱に

52.10.31 現在

長岡市の財政内容を市民の皆さんからご理解していただくため、年2回、財政のあらましをお知らせしていますが、今回は、昭和52年10月31日現在の予算執行状況を中心にお知らせします。
一般会計の予算額は、188億4522万6千円で、昨年同期より、18.6%29億5841万9千円伸びました。現在までの予算の執行状況は各表のとおりですが、今後も予算を計画的、効率的に執行し、健全財政を堅持いたします。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

一般会計

歳入		歳出	
予算額	18,845,226(千円)	予算額	18,845,226(千円)
収入済額	10,885,436	支出済額	9,904,893
収入割合	57.8%	支出割合	52.6%



希望が丘小学校の新築

希望が丘小学校の建設工事がいま急ピッチで進んでいます。ことしの4月には、大島学区から分かれて、新しい小学校として誕生します。

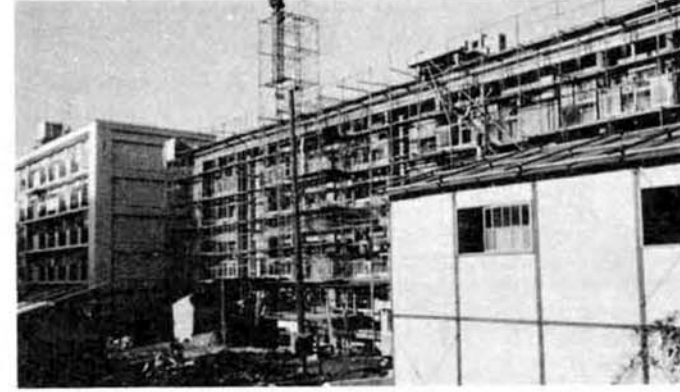
●52年度分事業費 1億5,800万円



市営スキー場を拡張

ことしは、533mのリフト1基を増設し、ゲレンデの拡張整備を行いました。また、駐車場と道路を全面舗装しましたので、一層利用しやすくなりました。

●52年度分事業費 1億391万円



宮栄団地に市営住宅2棟建設

宮栄団地で進められている市営住宅の建設は、ことしの3月完成をめざして、いま急ピッチで工事が行われています。

●52年度分事業費 3億2,720万円



生きがい対策事業

お年寄りの皆さんから、健康で明るい毎日を送っていただくため、昨年4月に「生きがい課」を新設——ユニークな、生きがい対策事業を進めてきました。

●52年度分事業費 2,133万円

お知らせ



● 正月の臨時列車の案内

正月は国鉄も大変混雑します。上手な旅行に今年も増発列車をご利用ください。

長岡駅(案内)

三三三〇三五八

種別	名称	運転日	始発駅	当駅時刻	終着駅	のりば
急行	佐渡52号	1/3-1/6	村上 8:30	10:46	野上 15:23	4
	信濃川52号	1/3-1/6	長岡 11:24	11:40	野上 17:11	5
普通	佐渡55号	1/3-1/6	新潟 13:53	14:52	大宮 19:07	4
	佐渡58号	1/3・4	新潟 15:53	16:52	大宮 21:07	4
普通	島海51号	1/3-1/6	酒田 19:26	23:35	野上 4:13	4

● 冬の感電事故に注意

冬は、雪おろしや積雪による断線などのため、感電事故が多くなります。次の点に注意して、感電事故を防ぎましょう。

- ・トランスや電線には触れないようにしましょう。
- ・電線の近くでは、タコあげや飛行機遊びはやめましょう。
- ・切れた電線を見つけたときは、東北電力にお知らせください。東北電力(三三五一一八六〇)

● 定時制生徒募集

働きながら学ぶ、勤労青少年のみなさん、たぐいまれ昭和五十三年度の生徒を募集しています。

・定員：五十名
・期日：毎週金曜日
・時間：午後3時45分～5時
・授業時間：午後5時45分～午後9時10分
・願書受付：昭和53年2月1日～2月7日

日2月7日正午

- ・卒業資格は全日制と同等
- ・教科書無償貸付、学校給食修学奨励金(月五千元)
- ・その他各種奨学金の制度があります。
- ・長岡西高等学校(水道町三三三三三二二)

● 電話線を切らないで

雪おろしのシーズンです。この時期の電話の故障は、建物に引き込んである電話線を雪おろしで切られるものが最も多くなっています。

冬は修理にも時間がかかります。電話線は大切に！

● 償却資産の申告

一月一日現在で、市内に事業のために使用する償却資産を所有している方は、一月三十一日までに資産税課に申告書提出してください。

体育教室へどうぞ

1月～3月第三期募集

ことし第三期の体育教室を次により開設します。ふるってご参加ください。

会場 厚生会館大ホール
期間 1月～3月
参加費 一千元
申込 1月5日から受付ます。参加料持参でお申し込みください。

幸町二丁目一
長岡市役所
レクリエーション課
三三三〇三五八

● 幼年体育教室
● 対象：小学二年生

- 定員：五十名
- 期日：毎週金曜日
- 時間：午後3時45分～5時
- 少年体育教室
- 対象：小学三・四年生
- 定員：五十名
- 期日：毎週火曜日
- 時間：午後4時～5時15分
- 青年スポーツ教室
- 対象：青年男女
- 定員：百名
- 期日：毎週火曜日
- 時間：午後6時15分～8時15分

- 婦人スポーツ教室
- 対象定員：婦人百五十名
- 期日：毎週金曜日
- 時間：午前10時～12時
- 壮年スポーツ教室
- 対象定員：壮年男女百名
- 期日：毎週金曜日
- 時間：午後6時15分～8時15分
- 若返り教室
- 対象：六十歳以上の男女
- 定員：百名
- 期日：火曜日
- 時間：午後1時30分～3時15分

- 初心者テニススクール
- 硬式
- 一般社会人を対象にした初心者のためのテニススクール
- 期日：1月23日
- 時間：午後6時30分～8時30分
- 会場：厚生会館大ホール
- 対象：一般社会人
- 参加料：一千三百円
- 定員：各コース四十名
- 持参品：ラケット、運動靴、運動着
- 申込：1月23日から参加料を添えてレクリエーション課へ

くらしの相談コーナー

最近買った醤油を使って料理をしたら、野菜などが真黒になってしまいました。お醤油は一・八リットル併せましたが、黒くなるのは何のせいでしょうか。(市内主婦)

黒くなったお醤油の料理

消費生活センター ☎32-0022

ソリ遊び

最近ソリもプラスチック製になりましたが、子供たちにとっては、雪の中をころげ回るソリ遊びは、本当に楽しいものです。市営スキー場には幼児も楽しめるソリ遊び場もあります。今年もご家族みんなでご利用ください。

溶け出た缶の鉄分

普通、醤油缶として使用するものは、内部塗装がされており、何回か再利用もできます。

調査の結果、この缶はアルコールや油を入れる白缶といわれる缶で、内部の塗装がありませんでした。

醤油をこのような缶に入れると、缶の鉄分が溶け、これが料理を黒く変色させます。また、香りも悪くなり調味料としての価値も減少します。

そこでさっそく、この醤油メーカーに照会したところ、正規の缶の中に、製品に添加するアルコール缶が混入し、そのままラベルが

張られたものわかりました。センターに持ち込まれた料理には、ナスやほうれん草などアクの強いものがあり、これが鉄分と反応して黒くなったもので、メーカーには強く抗議すると共にさっそく良品と交換してもらいました。

なお、缶入りの醤油は、長期保存が可能とされていますが、空気にふれる面積が多いため、開封したら口の細かいピンに移し変えて利用した方がよいでしょう。

人口と世帯数

52,121現在 (前月比)

174,331人 (+128人)

85,471人 (+72人)

88,860人 (+56人)

48,765世帯 (+7世帯)

市政を茶の間に

- NST「おはようがおか」15分番組…1月8日・22日・29日午前8時10分から
- BSN「長岡市だより」15分番組…1月4日(内)午前9時30分から1分番組…毎日曜日午前9時44分から
- ◇新春特別番組
 - ・BSNテレビ…「市長新年あいさつ」1月1日午前11時40分から3分間
 - ・NSTテレビ…「市長の新春対談」1月2日午前10時30分から15分間。「市長新年あいさつ」1月1日午前9時40分から3分間。



成人式を迎えるみなさんへ

ことし長岡市で成人式を迎える若者は約2,300人です。市では新成人の皆さんの新しい門出をお祝いする成人式を行います。皆さんの出席をお待ちしています。

- 日時…1月15日午前10時開式11時30分終了予定(受付は午前9時～9時50分)
- 会場…厚生会館
- 対象…昭和32年4月2日から昭和33年4月1日までに生まれた方

● プログラム

- (1)式典
 - (2)スライド上映
「成人おめでとう——このふるさととともに」
 - (3)アトラクション
リード演奏と歌
- 問合せ…市役所 社会教育課 (☎ 35-1122)

★読者のついで

● 日時…1月27日(金)午後7時～9時

● 会場…互尊文庫児童室

★新年初泳ぎ大会

● 日時…1月5日(休)午後1時30分～3時(入場無料)

● 会場…長岡ラジコンカークラブ会員の皆さんによる一般公開。

● 内容…長岡ラジコンカークラブ、ランチャーなど

★新年かるた大会(百人一首)

● 日時…1月15日、午前10時から

● 対象…小学四～高校生

● 会費…百円(当日持参)

● 定員…四十名(先着順)

● 申込…1月13日まで

● 会場…長岡ラジコンカークラブ

★消費生活講座

「子供に対する消費生活のしつけ」

● 日時…1月23日(月)午後1時～3時

● 会場…長岡商工会議所

● 講師…県消費者協会事務局 長 山本敏夫さん

「自然食を考える」

● 日時…1月26日(木)午後1時～3時

● 会場…長岡商工会議所

● 講師…百歳社社長 堀越与志男さん

★くらしの一日教室

● 日時…1月30日(月)午前10時～12時

● 会場…消費生活センター

● 内容…包装紙を利用した紙人形

● 定員…二十名

● 申込…1月10日から受付

★消費生活センター

☎32-0022

★白井吉見著「事故のてんまつ」を話題に

★子どものついで新年大会

● 日時…1月21日(土)午後2時～3時30分

● 会場…互尊文庫学生閲覧室

● 内容…長岡放送劇団による人形劇、手品、お話しなど

★木曜ビビツ子タイム

毎週木曜日、午後3時30分から4時まで、児童室で紙しばいやスライドを行います。